

東方幻惑録

Takeru

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ある日、霊夢が霧雨店にいったときだった……

目次

東方幻想録

霊夢 「また妖精ね…。妖精はどこにでも沸くから大変なのよ」
夢想封印！

霊夢 「をするまでもないわね」

チル 「この、はなせー！さいきよーだぞー！」

ボゴツ

ドゴオオオオン

霊夢 「ふう」

ボゴツ

「春は暖かいわね」

「お賽銭はいつてるかしら」

お、お賽銭10万円だと」

「お賽銭であゝわ、しよゝい」

夢オチ

魔理沙 「うちはラーメン屋なんですがー」

アリス 「ふざけてんじゃん！」

霊夢 「あれ？霧雨店どうしたの？」

魔理沙 「こちらアメリカです。」

霊夢 アメリカ？

霊夢 「魔理沙

霊夢 「ここ幻想郷よ？」

魔理沙 「射命丸で10分です」

霊夢 「なにいつてるの？」

霊夢 「アリス、魔理沙おかしくなったのかしら？」

「パチュリーにでも相談しましよ、本ばっか読んでるあいつならわかるかも知れないわ」

く紅魔館く

霊夢 「パチュリー？」

霊夢 「パチユリーいないのー?」

霊夢 「おかしいわねえ」

霊夢 く霧雨店く

霊夢 「魔理沙、なおった?」

霊夢 「あれ、みんなどこいったのかな

霊夢 「かんじやった」

まり 「たたた、大変だ霊夢!みんながおかしくなってる!」

霊夢 「魔理沙治ったのね、でもそのかわり皆がおかしくなったと

霊夢 「なにくわせたの?」

霊夢 「またへんなどクではないでしょうね」

まり 「わたしはなにもしてない!みんな目がうつろになってどこかにとんでいったんだ

霊夢 「はあ?また異変か:」

霊夢 「とりあえずいくわよ」

霊夢 「で、どこにむかったのよ」

「また霊界?それとも紅魔館?」

まり 「追ってたんだが、一斉に襲ってきてわからなくなったぜ:」

霊夢 「おそってきた?」

「闇雲に探すしかないわね」

まり 「あれはもう弾幕ごっこじゃない!ただの殺し合いだ!」
?少女探索中?

飛行中の出来事

霊夢 「そーいや殺し合いとか行ってたけど

霊夢 「紅魔館とかの奴らも?」

霊夢 「いったい誰が黒幕なのかしら:」

魔理沙 「襲ってきたのはこうまかんのみんなとアリス、そしてようむだ」

霊夢 「つまり、紫、幽々子、文、鬼とかには教われてないのね?」

「ああ、そうだぜ」

「とりあえず事情聴取してみましょ」

少女探索中,,,,,

霊夢 「魔理沙なにかみつかった？」

魔 「こっちは何も・・・」

ドーン魔

「な、なんだぜ!?!」

紫 「・・・」

魔 『紫か?どうしたんだ?』

霊夢 「紫?なんであんたがここにいるのよ」

紫 「・・・あなたたちを・・・殺す!」

霊夢 「ゆ、ゆかり!どうしたのよ

ここは戦うしか・・・

邪魔をする者は問答無用!」

シユドドドツどどどどどどど

魔 「もらったぜ!マスター・・・ な!?

ドゴオオオオオオオ

ガバッ

霊夢 「魔理沙何やってるのよ」

魔 「すまん霊夢、ゆだんしてたぜ」

霊夢 「くるわよ」

霊夢 「結界をはるか」

ここぞっ!

霊夢 「夢想封印!!!!!!!」

魔 「こうなったら、使いたくなかったんだが・・・
いくぜ!実験「魔法研究の成果」
!!!!!!!」

いまよ！魔理沙！

魔？「いきなりか、まあいい、いくぞ！夢想スパーク！」

紫「ぐ?!、があああああ」

霊夢：「うおおおおおおおおお」

霊夢：ふ、ふう

霊夢：「終わった…？」

霊夢：「ま、まだ、人が…きている」

霊夢：「紅魔館の奴ら+αだ」

魔？「やばいな、逃げるか、どうする？・霊夢」

霊夢：「倒さないと先に進めない。。。けど」

霊夢：「夢想封印はしばらく使えないし…」

霊夢：「いったん引きましょ」

霊夢：「とは、いかないわね」

霊夢：「どんどんおってがくるわ」

霊夢：「なかにはさくやがいるわ」

霊夢：「時を止めて…っ」

霊夢：危ないっ」

霊夢：「どうするっ」

霊夢：「引き下がるにも無理がっ」

魔「しかたない、れいむ、あとはまかせた 転送「ノンレディクシヨ

ンワープ」… さあ、来いよお前ら

魔？「おおおおおおお、くらええええええええええ」チュドーン

霊夢「魔理沙っ」

魔「はあ、はあ、早く… いけ… 霊夢… 私… が… 生きて

る… うちに!+!

「見捨てる訳には!+! いかない!!!」

「夢想… 封印!!!」

どごおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお

おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお

おおおおおおおおおおおおおおおおおおおお

「やつ…た…?」

魔「やった！霊夢！みんな気絶してる！」

霊「でも、黒幕は誰かしら？」

魔「さあ？私には見当もつかない、そういえばいつてなかったな、私は10年後の私だ」

霊夢「はい？じゃあ今の魔理沙は、というか、老けてないわね」

魔「さつき使ったスペカ 実験「魔法研究の成果」は20分の間入れ替わるんだ」

霊夢「ん、ということはさつき戦う前の魔理沙はイマの間理沙なの？」

魔「まあそうなるな、ちなみにもう効果切れる」

ボン

魔「ふう、なんとかなったぜ」

霊夢「おおかえってきた」

魔「あつちにいるとき暇だったぜえ」

霊夢：「お。おう」

霊夢：「未来は何も無いの？」

魔「ああ、特に何もなかったな、いつもの幻想郷ってだけだぜ」

霊夢：「そう、未来は安全あのね」

霊夢：「また、いつもの生活が戻るのね」

魔「ああ、この異変は解決するはずだ、がんばろう」

〈ED〉